

第14回商工会青年部 全国大会(徳島大会)

平成25年2月6日、7日徳島県徳島市の「アスティとくしま」において、「第14回商工会青年部全国大会」が開催され、全国から約2,500名、本県からは22名の商工会青年部長等が参加しました。

大会では、組織及び事業推進について優秀な青年部に対し全国大会顕彰が授与されたほか、参加者間のビジネスチャンス創造の場として商人(AKINDO)商談会が開催されました。

また、大会では主張発表全国大会も開催され福岡県青連八女市商工会青年部山口智臣さんが最優秀賞に選ばれました。



商工会青年部全国大会の様子

第19回東北六県・北海道商工会 青年部員交流研修会

東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会・青年部連合会連絡協議会主催の標記大会並びに主張発表大会東北・北海道ブロック大会が平成24年10月17日に岩手県の「盛岡グランドホテル」で開催されました。

主張発表大会では、秋田県代表として澁谷デザイン事務所の澁谷和之さん(美郷町商工会青年部監事)が出演。「青年部活動と地域振興まちづくり～まちにきづく・まちをきづく～」と題し、青年部活動を通じ「自分の町を誇りに思うこと」の大切さを訴えたほか、「地域に当たりまえにある大切なものにきづく、それを守り伝えてゆく」という青年部員としての決意が語られました。

堂々たる態度で聴衆を引きつけ優良賞を受賞しました。



秋田県代表の澁谷和之さん



大会終了後に記念撮影



1億円の重さはどれくらい？

秋田県商工会連合会 囑託専門指導員 武野りつ子氏 寄稿

突然ですが、この質問は小学校で行われる租税教室での1シーン。授業の最後にジュラルミンケースに入った1億円(残念ながらレプリカ)の登場で一気に盛り上がり、重さを体験して終了となります。初めて目にする1億円は、生徒でなくとも好評で、校長先生のはしゃぎ様が一番印象に残った学校もありました。ちなみにタイトルの答えは10kg! 税務署から借りて来ますが、かなり重いです。

ここ数年「租税教育の充実」を目的とした授業が行われるようになり、私も税理士として年に数回、小学校や中学校へ訪問する機会を頂いています。

教材の内容で私が一番関心を引くのは税収の少なさと借金の多さ。国の歳入と歳出を表す円グラフを見ると、税収は歳入全体の約50%しかありません。残りは何かといえば必然的に借金となります。日本では源泉徴収と年末調整で納税が完結する方が多く、納税者意識が低い事を問題視する声もあります。租税教育を充実させ納税意識を高めなければいけないという意図がうかがえます。

日本の借金が100兆円というニュースも聞かれる様

になりました。中学校では24年度の公債残高は税収の17年分であるという事も教えています。ネット上では日本の借金時計が動いており、1秒間に約100万円の早さで借金が増えていく様子が分かります。

個人的には暗い気持ちにもなってしまうような授業ですが、税の仕組みや使われ方を知った生徒からは明るい未来も感じられます。小6の生徒からは「小学校に通うのはお金がかからなくて良いと思っていたけど、沢山の税金が使われている事が分かったの、そういう事をちゃんと考えながら生活していきたい。」「消費税が上がるのは嫌だなと思っていたけど、上げなければいけない理由がある事が分かった。」という感想を聞く事ができました。また、国税庁では毎年中高生に対し「税に関する作文」を募集しており、入選作品はホームページ上でも見られます。生徒が感じる税に対する率直な意見は、純粹かつ前向きで感心する内容です。

授業のまとめは、税金を一言でいうと「私たちが安全で豊かな暮らしをする為にみんなで出し合う会費」となります。確定申告のこの時期に、みなさんも改めて税金について考えてみてはいかがでしょうか？